

# APNet ニュースレター

—Advanced Power Network—

Vol.105 (2018年2月号)

発行  
次世代電力ネットワーク研究会

 一般財団法人エネルギー総合工学研究所

## <今月の注目点>

- ・海外ニュースでは、再生可能エネルギービジネスモデルと配電側の対応策を中心にご紹介します。
- ・国内ニュースでは、VPP スキームによる地域活性の試みと電気自動車関連の記事を紹介しています。
- ・事務局後記では、2018年2月14日(木)に東京都港区で開催された大型蓄電システム実証事業に係る成果報告会に参加した所感を記しました。

## 目次

1	海外ニュース	- 1 -
1.1	ハイブリッド発電所によって Graciosa 島の再エネ比率 65%に	- 1 -
1.2	リチウムメタルバッテリー	- 3 -
1.3	サッカースタジアムとエネルギーストレージによるビジネスケースの提供	- 5 -
1.4	UK Power Networks と Open Utility が配電システム制御の実証へ	- 6 -
1.5	Smartest Energy が ENEL の Tynemouth バッテリーを管理・制御	- 6 -
1.6	SolarReserve の 15 万 kW 太陽熱発電プロジェクト, 開発許可	- 7 -
1.7	UK Power Networks が隠れ系統容量の開放をねらう	- 9 -
2	国内ニュース	- 11 -
2.1	「ローカル VPP イニシアティブ」の活動を開始	- 11 -
2.2	低炭素で電気が止まらない街の構築に向けた「E-KIZUNA Project 協定」の締結	- 12 -
2.3	電動車用電池のリユース・リサイクル事業の実証開始について	- 14 -
3	事務局後記: 「大型蓄電システム実証事業に係る成果報告会」に参加して	- 16 -